

# 号外！ 佐世保初の両師匠！！

## 第四回 佐世保かっちえて落語会

# 柳家喜多ハ

モットーは「清く、けだるく、美しく」ととぼけているが、  
柳家派の正統な継承者であり、古典落語の名手である。

# 林家正蔵

九代目襲名以来、年間五百高座に挑み続け、評価もうなぎ  
登り。正蔵初の佐世保で、どんな高座をみせてくれるか。

平成24年6月17日(日) 開演午後4時  
佐世保コミュニティーセンター5F  
大人・指定席:2,500円 自由席:2,000円  
小中高生:1,000円(指定席・自由席ともに同じ)

----- 切り取り線 -----

〈指定席希望者の方のみご記入ください。チケット販売は約2ヶ月前からです〉

〒  
ご住所 \_\_\_\_\_

◆ご予約枚数

ご氏名 \_\_\_\_\_

◇指定席◇

電話・FAX番号 \_\_\_\_\_

大人(        枚) 子供(        枚)

第四回 佐世保かっちえて落語会  
柳家喜多八・林家正蔵二人会

企画 海老原 靖芳  
(佐世保出身)

プロデュース 千布 一仁・小宮 孝泰  
(佐世保在住) (コント家番号)



1949年東京生まれ。  
1977年十代目柳家小三治に入門。  
1993年真打昇進。  
人情味であれ滑稽味であれ、落語の本質である、人間という存在の面白さを描くことにかけてはトップクラスの実力派である。  
モットーは「清く、けだるく、美しく」とと語っているが、高座でのちょっとした仕草や表情の変化だけで爆笑させる表現力は玄人筋からも非常に高い評価を得ている。

前座・佐世保かっちえて落語っ子

富永旺佑・井上由一郎・山邊恵介・富永将暉

(赤崎小4年)

(広田小6年)

(佐世保西高1年)

(佐世保工高1年)



1962年東京生まれ。  
1978年初代林家三平に入門。  
1988年真打昇進。

高座に姿を現すだけで場内を明るくできる、数少ない華家のひとりである。全国的な人気もさることながら、国立花柳演芸大賞古典落語金賞や、浅草芸能大賞新人賞を受賞するなど、その実力も高く評価されており、さらに、年間五百高座を目標にし、確実に「新しい正蔵の世界」を築きつつある。

◆日時：6月17日(日) 開場 午後3時30分 開演 午後4時

◆会場：佐世保コミュニティーセンター5階